
愛と希望と悲しみと憎悪の短編集

おおわさび

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛と希望と悲しみと憎悪の短編集

【Nコード】

N5687N

【作者名】

おおわさび

【あらすじ】

題名どおり愛と希望、悲しみと憎悪で構成された一話完結の短編集です。

第一話 最大の敵（前書き）

なんとなく書いてみた
後悔はしている……

第一話 最大の敵

僕はこんなところで負けるわけにはいかないんだ!!

だけど、そんなのはただの強がりってことぐらい知っている。

僕がコイツに勝てないことぐらい、みんな知っている。

コイツに勝てるわけがない。

きっと、誰もコイツにか勝てるわけがないんだ。

そう、みんな勝つことを諦め。

仕方がないこととしてみんな受け取ってしまったている。

今、僕はコイツと戦っている。

もし、負けてしまったら、僕は厳しい罰を受けることになる。
まうだろう。

だから!! 負けるわけにはいかないん……だ。

あれ? お…かしい、な。

どうして、だ、ろう。

意識がな……なく、なくなってい……いく。

ま、負ける……負けるわけ、には、い……いかないのに…。

そうして、僕はまたコイツ（眠気）に負けて授業中に寝てしまい。
先生に怒られるという、罰を受けてしまった……。

第一話 最大の敵 完

第一話 最大の敵（後書き）

感想はいつでもお待ちしております！

第二話 己の戦場（前書き）

厨二病

いまだに進行中

第二話 己の戦場

時計の針が動く音が刻々とその時間が迫っていることを告げている。

はっ！ 情けないな…俺…。

びびって足が震えてやがる。

幾つもの戦場を生き抜いてたこの俺の、な…。

俺の口から自嘲ぎみた笑いがこぼれていた。

それでも俺は発破をかけるように自分の頬を叩いた。

……ここで逃げるわけにはいかない！

ここで逃げたら俺が俺じゃなくなってしまう！！

そう、自分に言い聞かせ

己の戦場へと旅たった…

けど、やっぱり歯医者怖いよ〜！（<―>）

第三話 共に戦う仲間（前書き）

第三話 共に戦う仲間

いつだってそいつはおれの前に立ち塞がる。

おれ一人だけじゃそいつに勝つことは出来ない

だけど、オレは一人じゃない!!

いつだってアイツがそばにいてくれた、だから、オレはそいつに勝ってきた

だから今度も……勝つ!!!

グッ!!

おれの口から赤い液体が出そうになる

だけどこれはいつもどうりだ そしていつもどうり

オレはアイツと一緒に勝つ!!!!!!

オレ&a m p;アイツことお茶（流し込む）VSそいつことミニト
マト（嫌いの食べ物）
の話

第三話 共に戦う仲間（後書き）

感想お待ちしております

第四話 儚い犠牲（前書き）

作者の厨二病はもう治らないのでしょう

第四話 儚い犠牲

また……俺の手で新たな命の芽を摘んでしまった。

何度同じ失敗を繰り返すつもりだ！

俺程度がどれだけ努力したところで

出来るわけがないのに……。

分かっている……分かっているけど……！

それでも！

どれだけ犠牲にしても俺はできるようになりたいんだ……！

……これが自分のエゴだということは重々承知しているつもりだ。

けど、それでも……！

俺のプライドが諦めようとするのを阻むんだ。

分かっているけど、諦めれないんだ……！

片手卵割りを……！

第四話 儚い犠牲（後書き）

ご感想、ご指摘ありましたらどんどん下さい。

第五話 夢追い人

俺にはずっと追いかけている夢がある。

ずっと思い描いている夢がある。

それが叶わない夢だということは分かっている。

どれだけ手を伸ばしても。

その夢に手がかることさえないと承知してもいる。

思い描くだけ無駄だということも分かっている。

もう子供ではないのだから。

そうと分かっている。

叶うことない夢だと知ってしようとも。

周りからどれだけ馬鹿と罵られようとも。

俺はこの夢を叶えたいんだ……。

一週間、給食プリン付きという夢を……！

第五話 夢追い人（後書き）

テストが終わり久し振りの投稿！！

いつもどりの厨二病の作者。

もう一生治ることはないでしょう……。

ご感想、ご指摘、ご質問あったらどんどん送ってください。

それだけで作者の手にコスモが宿ります！！

第六話 危険な蜜（前書き）

厨二病進行中

第六話 危険な蜜

不気味な快樂が俺を惑わせて。

何度も。

何度も同じことを繰り返してしまう。

やるべきではない。

やっても、苦しみが長引くことになるだけと。

分かっているのに。

気がつくとやってしまっている……。

止めるべきだと頭が分かっている。

身体は自然とそれに手を染める。

あたかもそれをやるのが自然な流れかのように、俺の脳内は侵されてしまっている。

理性は腐った快樂により黙らされてしまった。

気づくと。

皮膚の上を血がまた伝っていた。

それを見て、自嘲気味に俺は笑い。

空を見あげた。

……もう、俺は逃れ止めることはできないのだろう。

この、かさぶた剥がしを……。

第六話 危険な蜜（後書き）

テスト期間中なのに書いてしまった。

実はかなり後悔している。

第七話 理解不能

不快。

気持ち悪い。

頭が痛い。

吐きそうだ。

だめだだめだだめだだめだ。

いやだいやだいやだいやだ。

いたいいたいいたいいたい。

つんざく。

離れない。

忘れられない。

纏わりつく。

なんでなんでなんでなんで。

離れろ離れろ離れろ離れろ。

やめてやめてやめてやめて。

なんで平気なの？

こんなひどいことをして

なんで平気なの？

分らない分らない。

分
か
り
た
く
な
い
分
か
り
た
く
な
い
！

[illegible]

なんで？

黒板を引っ掻くのおおおおお！？

第七話 理解不能（後書き）

厨二病は
不治の病です。

第八話

幼馴染（前書き）

叶わない恋

第八話 幼馴染

キミとは幼いころからずっと一緒だった

キミが失敗して落ち込んでる時も

キミが悲しくて泣いている時も

キミがイラついて怒っている時も

キミが嬉しくて笑っている時も

ずっとずっと

一緒だった

私はキミの事が大好きだよ

けど分かっている

キミが私じゃなくて

彼女の事が好きなことぐらい

だって

町中で

お店で

彼女と会おうと

キミはとても嬉しそうな顔をするから

私に向けたことがない

本当に嬉しそうな顔を彼女に向けて

彼女はとても白く純粹で上品

そんな彼女がキミの好みなんだね？

キミに愛されるなら

そんな彼女になりたい

だけどそれはできない

赤い私じゃ彼女になれない

私じゃ

キミに愛される

白味噌にはなれない……

第八話 幼馴染（後書き）

ご評価ご感想が欲しいです

第九話 R・20

後に後悔すると分かっているのに

いつも貴方の誘惑に惑わされてしまう

貴方にすがってしまふ

貴方がくれる快樂に溺れてしまい

貴方がいないと駄目だと思ってしまう

そんなのはイケない事だと分かっているのに

身体が貴方を欲してしまい

今宵も貴方を求めてしまふ

貴方と交じりわっていると

身体が熱くなっていくのが分かってしまう

止めなちゃいけないと思っているのは

頭の中だけで

身体はいつも貴方を欲しがっている

貴方が好きだという気持ちは止まってはくれない

貴方が私の中にいるのを感じ

その快楽に身体を預けてしまう

——ゆっくりと堕ちていく意識の中で私は思う

貴方（お酒）なんか好きにならなければよかったのに……

第九話 R・20（後書き）

お酒は二十歳になってからだよ!!

へんてこな短編はひとまず、これにてお終い

またいつか

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5687n/>

愛と希望と悲しみと憎悪の短編集

2011年10月7日15時17分発行